

平成31年 3月15日
～美ら島の未来を拓く～
沖縄総合事務局



重点「道の駅」選定証授与式を開催します

国土交通省では、平成26年度より関係機関と連携して、地方創生の核となる特に優れた「道の駅」の企画を選定し、重点的に応援する取組を実施しております。

平成27年度には、重点「道の駅」として、沖縄県で初となる道の駅「ぎのざ」が選定されました。

平成30年度は、道の駅「許田」において、地域活性化の拠点となる優れた企画があり、今後の重点支援で効果的な取組が期待できるものとして、今般、沖縄県で2箇所目となる重点「道の駅」として選定されました。

このたび、下記日程で選定証授与式が開催されることになりましたのでお知らせします。

記

《重点「道の駅」選定証授与式》

日 時 平成31年3月18日（月） 13時～

場 所 北部国道事務所 大会議室

問い合わせ先

内閣府 沖縄総合事務局 北部国道事務所

担当者：副所長 渡久山 雄一

管理第二課長 渡久山 透

TEL：0980-52-4350(代表)

FAX：0980-52-4964

重点道の駅「許田」選定証授与式次第

期 日：平成31年 3月18日（月）

時 間：13時～

場 所：北部国道事務所 大会議室

司 会：北部国道事務所 管理第二課長

- | | | |
|-----------------|--------------------------------------|------------------|
| 1. 選 定 証 授 与 | 北 部 国 道 事 務 所 長
やんばる物産株式会社代表取締役社長 | 崎 間 斉
城 間 秀 幸 |
| 2. 北部国道事務所長挨拶 | 北 部 国 道 事 務 所 長 | 崎 間 斉 |
| 3. 重点「道の駅」代表者挨拶 | やんばる物産株式会社代表取締役社長 | 城 間 秀 幸 |

沖縄総合事務局管内の重点「道の駅」位置図

参考資料

重点「道の駅」

- ・沖縄県名護市 道の駅「^{きよだ}許田」



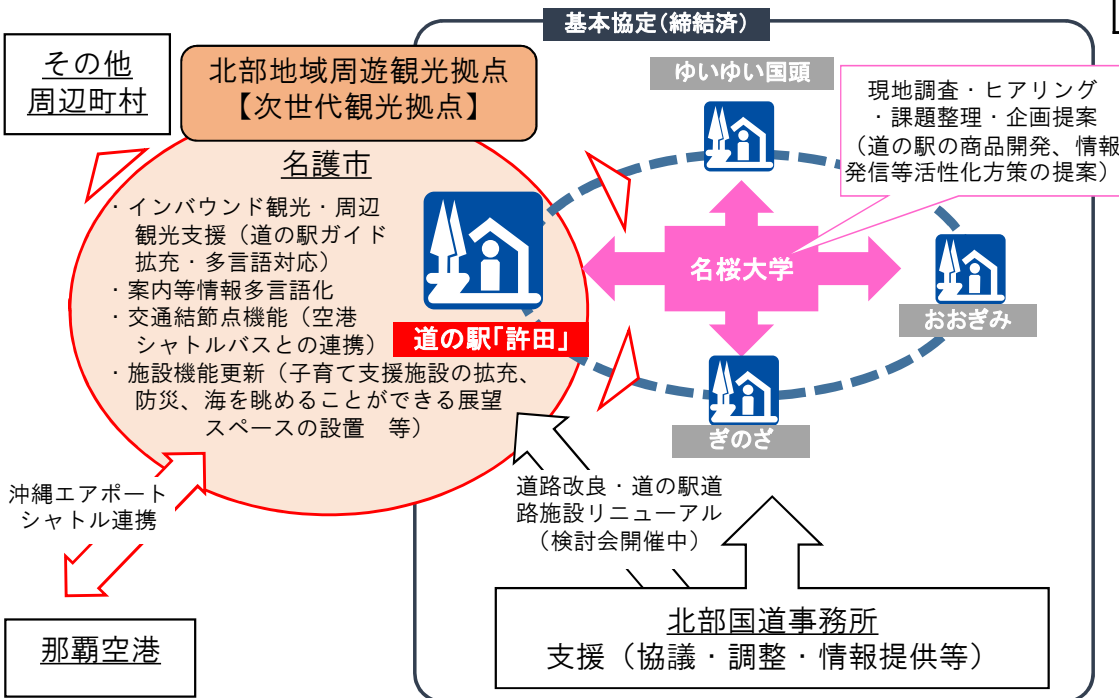
道の駅「許田」(沖縄県名護市) 企画概要 <既設>

きよだ

なご

- 専任ガイド(JNTOカテゴリⅡ)の配置を行い「道の駅」での観光情報発信の機能充実。
- 沖縄自動車道の末端である許田ICに近接する立地を活かし、周辺観光地(美ら海水族館等)へ向かうインバウンドを呼び込むための拠点として、エアポートシャトルとの連携(停留所の設置)。またそれらと周辺観光のための移手段の検討。
- 大学からの提案等を得ながら、HPやSNS等情報発信媒体により北部地域の周遊観光や「道の駅」利用者の満足度向上につながる周遊観光、イベント、満空に関する情報を多言語対応にて提供。
- 24時間利用可能な授乳室、おむつ交換スペースを設置、子育て支援機能の充実。屋根つき優先駐車スペースの確保等。

やんばるの玄関口としての道の駅「許田」の観光ゲートウェイ機能の強化 ～官民学連携による北部地域周遊観光の活性化に向けた次世代観光拠点形成～



駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
許田	沖縄県	やんばる物産(株)	国道58号	既設	平成6年	一体型

○沖縄本島北部地域の玄関口として観光周遊拠点となるよう、観光・地域情報を発信

○24時間利用可能な子育て支援機能の拡充



専任ガイド配置



多言語観光情報コーナー



授乳室設置

○道の駅内の各駐車場の満空情報提供

○道の駅の結節点機能強化



駐車場満空情報提供イメージ
出典：海洋博公園HP



沖縄エアポートシャトル
写真出典：海洋博公園HP



お湯の提供
ほ乳瓶用流し台

<提案の先駆性・ポイント>

- 次世代観光拠点の形成として周辺道の駅や観光施設等の情報や周遊ルート等、インバウンドや日本人旅行客の多様な観光ニーズに対応が可能な専任ガイド(日本政府観光局認定カテゴリⅡ相当)の配置を行う。道の駅でのガイド機能の充実
- 24時間利用可能な子育て支援機能の拡充(ベビーコーナー(授乳室、おむつ交換スペース)、屋根付き優先駐車スペースの確保等)

<実施内容>

- 提案1 北部地域周遊観光拠点(次世代観光拠点)の形成
⇒インバウンド対応が可能な専任ガイドの配置や沖縄自動車道と近接する立地を活かしエアポートシャトルとの連携
- 提案2 利用者ニーズを踏まえた地域振興施設等の施設・機能更新
⇒24時間利用可能な子育て支援機能の拡充
- 提案3 リニューアル計画による防災拠点の整備
⇒備蓄倉庫や非常用電源などの防災機能を強化

公募概要

- 地方創生や地域活性化の拠点の形成等を目指した「道の駅」の新たな設置、又はリニューアル等の企画提案を公募
- 優れた企画があり、今後の重点支援で効果的な取組が期待できるものを選定

公募期間と選定の流れ

- 平成30年10月5日(金)～10月25日(木)

企画提案書の提出

各地方整備局等から推薦

企画提案の評価・選定
(有識者意見を踏まえ実施)

重点「道の駅」の選定

- 重点「道の駅」は全国で15箇所、
重点「道の駅」候補は全国で14箇所を選定

その他

- 計画的な企画検討を促進する観点から、今後は毎年、公募を実施することを想定

支援内容

<ハード的な支援>

- 道路区域内の駐車場、休憩施設、トイレ、道路情報提供施設等は、社会資本整備総合交付金(直轄国道以外)及び交通安全施設等整備事業(直轄国道)の重点配分等により国交省が支援

<ソフト的な支援>

- 自治体・関係機関による協議会を設け、複数の関係機関の制度の活用等について、ワンストップで相談できる体制を構築。

選定にあたり優先的に評価する事項

- 重点「道の駅」候補からの企画提案
- 以下に関する企画提案
 - ・新たな観光拠点の形成(DMOとの連携、インバウンド観光)
 - ・風景街道・道守との連携
 - ・高速道路との連携
 - ・子育て応援